

農地利用最適化推進委員（令和8年2月20日～3月2日受付分）

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経歴		農業経営の状況		応募する区域	農業委員会委員 への推薦または 応募の状況	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)			
栗本 恵司	男	70	農業	S49.4～H17.9 R2.4～R4.3 R1.4～ R5.9～	エース証券勤務（現東海東京証券） 東栗栖地区自治会長 和歌山商業高校硬式野球部OB会副会長 東部区域担当農地利用最適化推進委員	水稻	23	東部区域	非該当	証券会社（現、東海東京証券）退職後、 家業の農業を引継ぎ、地域の為自治会長 等を歴任し、地域に精通致しております。 農地利用最適化推進委員の仕事を1 期目（2年6ヶ月）させていただき、これ まで以上に地域の農業従事者の方との繋 がりがありました。任期中はすべての会 議、研修会、現場確認等の職務に参加、 調査資料のまとめなど貴重な経験が出来 ました。1期3年間で培った経験を生か し、更なる職務の向上を目指したいとの 思いから推進委員に応募しました。
井邊 雅晴	男	73	農業	S50.4～H29.6 R2.4～R4.3 H30.4～	（株）紀陽銀行 井辺地区自治会長 井辺農業組合長	水稻 果樹	68	南部区域	非該当	・家業である農業を会社就職時より手伝 い、退職後本格的に米作に取り組む。 その間に自治会長、地区農業組合長を歴 任。 ・地域の農地が宅地化される中での問題 点（農業者の高齢化、耕作放棄農地増 加、生活排水による水質悪化等）を農業 委員と連携して、農地利用の最適化を計 りたい。 ・耕作放棄農地の解消に向けては地域住 民とのネットワークを活かし、戸別訪問 を通じて所有者の意向を丁寧に把握し、 農地の出し手と受け手の橋渡し役を積極 的に担いたいと考えます。

農地利用最適化推進委員（令和8年2月20日～3月2日受付分）

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経歴		農業経営の状況		応募する区域	農業委員会委員 への推薦または 応募の状況	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)			
谷河 真次	男	47	造園業	R6.4.1～	新友商事株式会社 代表取締役社長	水稻	41	北西部区域	非該当	職歴、農業経験を生かすことができ、今まで3年推進委員をやってきたので応募いたしました。
辻 朗文	男	68	農業	H9.4～H13.3 H13.4～H16.3 R1.8～ R2.5～ R2.9～ R6.11～	和歌山県庁農林水産総務課農地利用班 和歌山県庁耕地課管理指導班長 和歌山市消防団 副団長（方面隊長） 川永地区人権委員会 委員長 農地利用最適化推進委員 六箇井土地改良区 理事長	水稻 露地野菜	342	北部区域	非該当	定年退職後は、専業農家として水稻を中心にキャベツやブロッコリを栽培しています。平成2年からは、農地利用最適化推進委員として、担い手への農地集積や遊休農地の発生防止・解消等の活動をしてきました。 最近、私の地域でも廃農する人が年々増加してきています。地域農業の衰退は、農村集落の崩壊につながりますので、一人でも多くの兼業農家の若者に農業の魅力を認識してもらい、また、定年退職者の帰農を促進することが必要であると考えます。 県庁時代の行政知識や社会活動の経験を活かし、少しでも農業の衰退を食い止めたいと考え農地利用最適化推進委員に応募しました。